

自由が丘地区市政懇談会 議事録

- 1 日 時 令和6年11月15日(金)
午後7時00分～午後8時30分
- 2 場 所 自由が丘公民館 2階中会議室
- 3 参加者 自由が丘地区 25人
市 25人(市長、副市長、副市長、教育長、総合政策部長、総務部長、市民生活部長、健康福祉部長、産業振興部長、都市整備部長、上下水道部長、議会事務局長、消防長、教育総務部長、教育振興部長、生活安全課長、介護保険課長、道路河川課長)
オブザーバー 7人
傍聴者 4人

4 内 容

(1) 地区からの意見・提言及び市からの回答
別紙のとおり

(2) 意見交換

ア 認知症の取り組み

【自由が丘地区】

回答に、認知症に関する正しい知識を持ち、認知症の人やその家族を温かく見守ることへの理解者の輪を広げるとある。それに関して、小・中学生や高校生などを対象とした、認知症に対する理解を深めるためのプログラムを検討していただきたい。

次に、現在の認知症カフェへの運営補助制度について教えていただきたい。

【健康福祉部長】

認知症サポーター養成講座には、高齢者の参加が多いものの、学生にも参加していただけるプログラムとなっている。また、学校から認知症について学びたいと要請があれば、担当が出向き説明させていただく。

次に、認知症カフェへの運営補助は、基礎補助金48,000円を上限とし、利用者数や開催回数によって加算している。

【自由が丘地区】

認知症予防の取組をもっと市が主体となって進めてほしい。三木市は近隣市に比べて認知症についての市政情報が調べにくいと感じる。認知症予防プログラムへの側面的なサポートとは何を指すのか。

【健康福祉部長】

本日、机上に配付させていただいた「認知症あんしんガイドブック」に各種情報を記載しているので参考としていただきたい。

次に、認知症のこと、認知症カフェを行いたいなどそういった内容については、市の介護保険課、地域包括支援センター、自由が丘地区においては、在宅介護支援センター自由が丘などに相談いただきたい。相談内容に応じたサポートを実施する。

【自由が丘地区】

いきいき体操への男性の参加率が低いのをどう考えるか。サロンでの視聴のために社協から借りているビデオが古いので更新してほしい。

【健康福祉部長】

いきいき体操には市としても男性に参加していただきたいと考えている。今年度、自由が丘の敬老会にていきいき体操を実施し、その場には男性も多く参加していた。これを機会として、体を動かし、認知症予防にもつながるので、是非お誘いあわせていただいて、男性にも参加していただきたい。ビデオの更新については社会福祉協議会に相談する。

イ 津田商店前の横断歩道の安全化

【自由が丘地区】

回答により、音の出る道路鉦は付近の騒音問題となる恐れもあり、住民の総意を取るのが難しいことを理解した。それであるならば、突起だけでも設置いただきたい。

【生活安全課長】

突起物を付けるとしても、音は出るので住民の総意が必要である。住民の総意としての要望には対応する。

ウ 自由が丘団地入口交差点の安全化

【自由が丘地区】

交差点において、混雑時は運転者が無理な運転をするため歩行者が危険である。混雑解消のためにも、信号の割合の変更を検討していただきたい。

【市民生活部長】

当該交差点の信号については、警察において試験的に11月1日から2ヶ月間、平日の午前7時～午前9時、午後7時～午後9時の2時間ずつ、県道神戸三木線へ出る方向の信号を3秒間長く設定した。県道神戸三木線への渋滞の影響など、2ヶ月間、効果等を検証する。

エ 防犯カメラの設置について

【自由が丘地区】

自治会で防犯カメラを設置する際には、警察や市に相談することが可能だということなので、必要となれば相談させていただきたい。

【市民生活部長】

警察による設置場所の指導は一般的な刑法犯の行為場所になる。しかし、地域の事情に応じ、防犯カメラの設置目的は異なるので、地域と警察、市の三者同席で設置場所などについて一緒に協議させていただく。

【市長】

市では今年度から3ヶ年で、駅周辺やバス停留所など市内に60台の防犯カメラを設置する計画である。

オ ゴミステーション問題（利用マナーと設置場所問題）

【自由が丘地区】

1点目は、三木市の資源ごみのリサイクルの量や率など定量的なデータとその成果が知りたい。コストと労力をかけてやるほどの成果があるのか。あわせて、自治会が住民に対して分別のお願いをする際に、住民が分別するメリットを説明できるようにしたい。どういうメリットがあるか教えていただきたい。

2点目は、外国人住民へのゴミ出し時の注意喚起について、多言語のプリント提供には感謝している。しかしそのプリントによる注意喚起のみならず、これらは多文化共生の問題である。多文化共生の観点から対応できないか。

3点目の三木市開発指導要綱について、この要綱は平成9年に施行している。ゴミステーションの設置基準は30戸に1ヶ所となっており、共同住宅が増加する中、この要綱に基づく基準は現状に即して妥当かどうかを検討し、要綱を見直してほしい。

【市民生活部長】

1点目の資源ごみのリサイクル率は兵庫県全体のリサイクル率より低く、市としても更に推進しなければならないと考えている。

ごみ分別による住民のメリットとしては、持続可能な開発目標（SDGs）の施策に合致するということに加えて、二酸化炭素削減に積極的に取り組み、市としてゼロ・カーボンシティ宣言なども考えており、これらにより三木市の取組への評価を高めることがメリットと考えている。

2点目について、外国人住民のごみ出し等を含む日常生活に対する注意喚起は、自治会のみには頼るのではなく、外国人労働者を雇用する企業に、日常生活の教育について啓発していく。

3点目について、市内全域でゴミステーションの設置基準が30戸に1ヶ所となっており、これらは住宅地にも該当し、共同住宅だけ基準を変更するのは難しい。共同住宅の建築確認申請時に既設の地域のゴミステーションの利用を自治会と協議すること、管理のルールを自治会と調整することなどの注意喚起を文書で知らせている。

カ 空き家問題に関連する高齢化対策と少子化対策

【自由が丘地区】

次の3点についてお尋ねする。①空き家等対策計画の実施結果。②空き家等実態調査に基づいた次期計画の目標内容。③空き家バンク制度の運用成果、ホームページ等による空き

家バンクの更なる周知をさらに図る方策。

【市民生活部長】

1点目の空き家等対策計画の成果として、三木市に約120軒あった危険空き家を半減することができた。

2点目の来年度制定予定の第2期計画では、危険空き家を更に減らす、空き家総数の増加を緩やかにするという目標設定を考えている。

【総合政策部長】

空き家バンク制度の運用成果について資料がなく、本日は回答できない。

空き家バンクの周知について、三木市空き家バンクを全国版空き家バンクに連携させる。これは近畿初の取組であり、三木市空き家バンクへ登録された空き家情報は、自動的に全国版へ連携される。これらにより更なる周知に努める。